

Japanese Journal of Computed Tomography Technology (JJCT)

日本CT技術学会雑誌

Vol. 6 No. 1

July
2018**巻頭言**

学会事業の二本柱の充実に向けて

松原孝祐

学術大会の記録

JSCT2018 学術大会 Refreshers Seminar

Size-specific dose estimates (SSDE) について

松原孝祐

JSCT2017 学術大会 最優秀研究発表

頭部CT画像の自動MPR処理法

高橋規之、大村知己、豊嶋英仁

シリーズよくわかるCTmeasure解説：

4. 時間分解能

平入哲也

臨床技術講座

心疾患におけるCTの役割—冠動脈疾患を中心に—

山口隆義

腹部領域におけるCTの役割

三好利治

技術解説

160 mm ワイドカバレッジCT, 及びデュアルエネルギー撮影における技術開発

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

TCAだより

“TCAだより”の開始にあたり

村松禎久

CT検査の線量管理の現状、そして次のステップへ

高木 卓

外傷CTのリミテーション

藤村一郎

編集後記

木暮陽介

• Introduction	Kosuke Matsubara	1
• JSCT2018 Refreshers Seminar		
Introduction of size-specific dose estimates (SSDE)	Kosuke Matsubara	3
• JSCT2017 Best Presentation Award		
Automated multiplaner reconstruction technique for head CT scan	Noriyuki Takahashi, Tomomi Ohmura, Hideto Toyoshima	8
• CT-Image Analysis with CTmeasure:		
Part 4 Temporal Resolution	Tetsuya Hirairi	14
• Lecture of applied clinical technique		
The rule of cardiac CT in the evaluation of coronary artery disease	Takayoshi Yamaguchi	17
The role of abdominal CT	Toshiharu Miyoshi	23
• Technical news		
The technology of 160 mm coverage CT and dual energy imaging	GE Healthcare Japan	29
• TCA news		
TCA news: first issue	Yoshihisa Muramatsu	35
The current state of dose management of CT examination, and to the next step	Takashi Takagi	37
The limitation of trauma CT	Ichiro Fujimura	39
• Editor's notes	Yosuke Kogure	41

Japanese society of CT technology (JSCT)

• Committee

President: Katsuhiko Ichikawa, Ph.D.

Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University

Vice president: Yoshihisa Muramatsu, Ph.D.

Department of Radiologic Technology, National Cancer Center Hospital East

Directors:

Yosuke Kogure, Ph.D.

Department of Radiology, Juntendo University Hospital

Shuji Koyama, Ph.D.

Brain and Mind Research Center, Nagoya University

Kazuhiro Sato, Ph.D.

Health Sciences, Tohoku University Graduate School of Medicine

Katsumi Tsujioka, Assoc. prof.

Faculty of Radiological Technology, School of Health Sciences, Fujita Health University

Eiji Nishimaru, Ph.D.

Department of Clinical Practice and Support, Hiroshima University Hospital

Takanori Hara, Ph.D.

Department of Medical Technology, Nakatsugawa Municipal General Hospital

Kohei Harada, Ph.D.

Division of Radiology and Nuclear Medicine, Sapporo Medical University Hospital

Chikako Fujioka, Ph.D.

Department of Clinical Practice and Support, Hiroshima University Hospital

Yoshinori Funama, Ph.D.

Department of Medical Physics, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University

Kosuke Matsubara, Ph.D.

Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University

Noriyuki Yanagawa, Ph.D.

Faculty of Health Sciences Tsukuba International University

Isao Yamaguchi, Ph.D.

Faculty of Health Sciences, Butsuryo College of Osaka

Masao Kiguchi

Department of Clinical Practice and Support, Hiroshima University Hospital

Koumei Takauchi, M.S.

Department of Clinical Practice and Support, Hiroshima University Hospital

Kazushi Yokomachi

Department of Clinical Practice and Support, Hiroshima University Hospital

Hiroki Kawashima, Ph.D.

Faculty of Health Sciences, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University

Tadanori Takata, Ph.D.

Radiology Division, Kanazawa University Hospital

Honorary director: Issei Mori, Ph.D.

Tohoku University

Advisor :

Yoshihiro Ida

Department of Radiology, Fujita Health University Hospital / Representative Director of Japanese Certifying Organization of X-ray CT Technologists for Radiological Technologists

• **Editorial board members of JJCT**

Editor-in-Chief: Yoshinori Funama, Ph.D.

Department of Medical Physics, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University

Editors:

Yosuke Kogure, Ph.D.

Department of Radiology, Juntendo University Hospital

Shuji Koyama, Ph.D.

Brain and Mind Research Center, Nagoya University

Kohei Harada, Ph.D.

Division of Radiology and Nuclear Medicine, Sapporo Medical University Hospital

Noriyuki Yanagawa, Ph.D.

Faculty of Health Sciences Tsukuba International University

巻頭言

「学会事業の二本柱の充実に向けて」

日本CT技術学会は、これまで任意団体として活動しておりましたが、このたび特定非営利活動(NPO)法人として新たなスタートを切ることとなりました。本学会が会員の皆様に必要とされる学会であり続けるよう、理事一同、引き続き頑張っていきたい所存ですので、ご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、学会の理事の1人として学会運営に携わらせていただく中で、学会の役割とは何かということの時折考えることがあります。ご承知のとおり、学会にはさまざまな事業があります。たとえば会員コンテンツの充実なども重要な事業であり、本学会ではCT画像計測プログラムであるCTmeasureや、CT分野における学術的な標準・エビデンスについてまとめたテクニカルガイドラインを会員コンテンツとして公開しております。しかし、学会としての役割をしっかりと果たしていくためには、学会の事業の二本柱である学術大会の開催と学会誌の発刊、この両者を充実していかなければなりません。

学術大会については、これまでに6回の学術大会を全国各地で開催してきました。多くの皆様にご参加いただき、とても充実した内容の学術大会を開催できていると考えますが、現在は1日のみの開催となっているために、ご発表いただける口述演題の数は限られております。第5回学術大会からはポスター演題も導入し、より多くの皆様に発表機会を提供することができるようになりましたが、今後、シンポジウムやパネルディスカッションなどの企画も併せて開催していくとなると、近い将来、大会の開催期間を2日間にするということも検討していかなければならないものと思われまます。

次に学会誌についてですが、現在は年間2号を発刊しており、学術大会の後抄録や講演記録、技術解説を中心に構成されております。後抄録は査読を行った上で掲載しておりますので、査読付き後抄録としてご自身の業績となりますし、他の論文等での引用も可能となっております。しかし、学会誌の役割はやはり論文の掲載であろうと考えます。学術大会の開催と学会誌の発刊という2本の柱はしっかりとリンクされていなければなりません。つまり、学術大会で発表・議論を行い、その内容を論文として学会誌に投稿するという流れをしっかりと作るということが大切なのだらうと感じます。近い将来、本学会誌への論文投稿も可能となる予定ですので、是非ご自身の発表内容の論文化を進めていただければと思います。

近年、多くの学会で国際化が強く謳われておりますが、本学会では、あえて日本語での議論を重視するという方向に舵を切りました。会員の皆様には是非とも日本語で、CT技術に関する深い議論を行っていただきたく存じます。そして学術大会と学会誌の内容充実のためには、会員の皆様お一人お一人の積極的な取組が最も重要であることは言うまでもありません。本学会の更なる発展のために、今後ともご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

日本CT技術学会理事 松原孝祐

目 次

巻頭言

- 学会事業の二本柱の充実に向けて 松原孝祐 …… 1

学術大会の記録

JSCT2018 学術大会 Refreshers Seminar

- Size-specific dose estimates (SSDE) について 松原孝祐 …… 3

JSCT2017 学術大会 最優秀研究発表

- 頭部CT画像の自動MPR処理法 高橋規之、大村知己、豊嶋英仁 …… 8

シリーズよくわかるCTmeasure解説：

4. 時間分解能 平入哲也 …… 14

臨床技術講座

- 心疾患におけるCTの役割—冠動脈疾患を中心に— 山口隆義 …… 17

- 腹部領域におけるCTの役割 三好利治 …… 23

技術解説

- 160mmワイドカバレージCT, 及びデュアルエネルギー撮影における技術開発
GEヘルスケア・ジャパン株式会社 …… 29

TCAだより

- “TCAだより”の開始にあたり 村松禎久 …… 35

- CT検査の線量管理の現状、そして次のステップへ 高木 卓 …… 37

- 外傷CTのリミテーション 藤村一郎 …… 39

編集後記

- 木暮陽介 …… 41